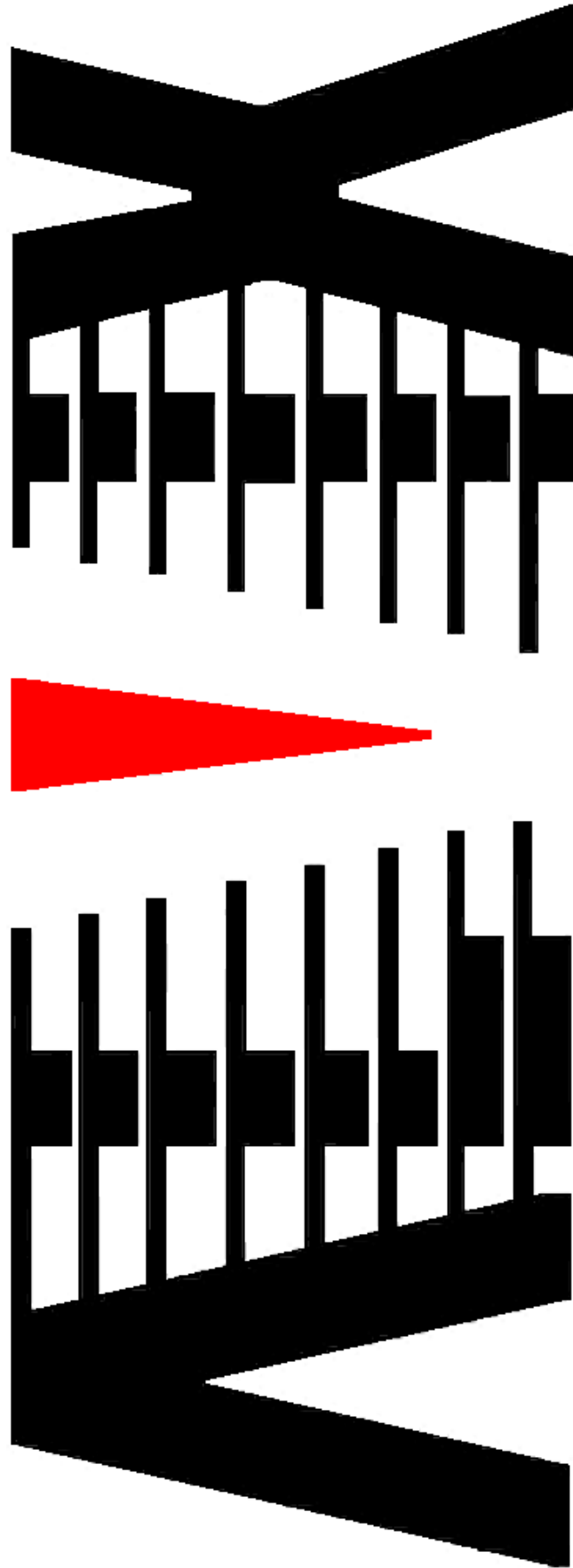


“アルビクス” ON AIR MONITORING UNIT オンエアー監視装置

取扱説明書

Ver. 0. 5



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

1. 主な機能と特徴.....	3
2. 仕様.....	4
3. 地上デジタルチューナー各部の名称.....	5
4. 接続方法.....	5
5. 監視システム.....	6
5.1 メイン画面.....	6
5.1.1 エラー検知開始・停止ボタン.....	7
5.1.2 設定ボタン類.....	7
5.1.3 エラー確認ボタン.....	16
5.1.4 番組情報表示欄.....	16
5.1.5 ログ表示.....	17
5.1.6 映像表示.....	17
5.1.7 映像表示 ON・OFF ボタン.....	17
5.1.8 グラフ表示.....	17
5.1.9 グラフ表示範囲切替.....	17
5.1.10 過去ログ表示.....	18
5.2 メール画面.....	19
6. 外部制御.....	20
6.1 e-mail による設定・通知.....	20
6.2 端末監視.....	24

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇Windowsデバイス、USB接続地上デジタルチューナーを使用して放送電波を監視するオンエア監視装置です。
- ◇信号品質の低下が指定された時間以上連続した場合、その内容を指定先へe-mailで通知します。
- ◇可搬型で設置場所を選びません。

2.仕様

◆機器構成

- Windowsデバイス（お客様にてご用意ください）
- 地上デジタルチューナー

◆エラー検知項目

C/N値エラー：C/N値がしきい値を下回った状態が指定秒数以上連続した場合、エラーを通知します。

BER値エラー：BER値がしきい値を下回った状態が指定秒数以上連続した場合、エラーを通知します。

◆エラーログ

Windowsデバイス内にエラーログを保存します。

◆外部制御

e-mailにより検知内容の通知、ならびに検知条件の設定、システム内部状態の取得が行えます。

e-mailの通知先は5件まで登録できます。

【通知項目】

C/N値・BER値エラー発生/回復時通知、
C/N値・BER値定期通知

【設定項目】

C/N値・BER値エラーしきい値・判定時間設定、
検知開始/停止設定、チャンネル設定、定期通知間隔設定

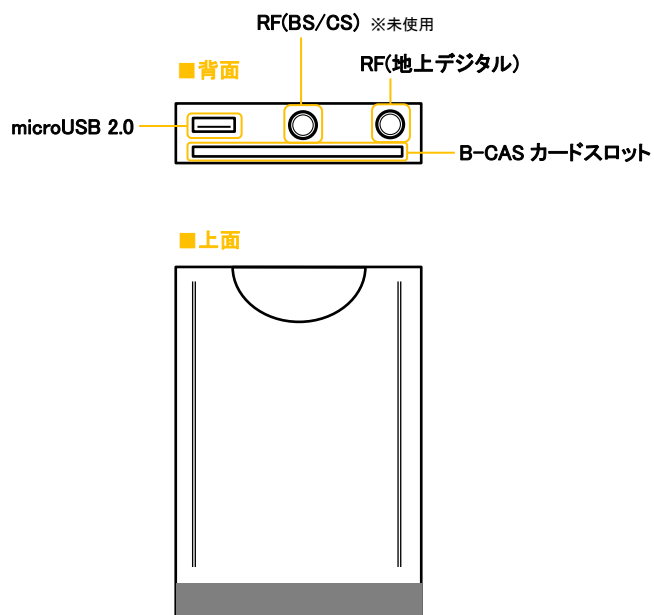
【取得項目】

C/N値・BER値取得、設定項目の状態取得

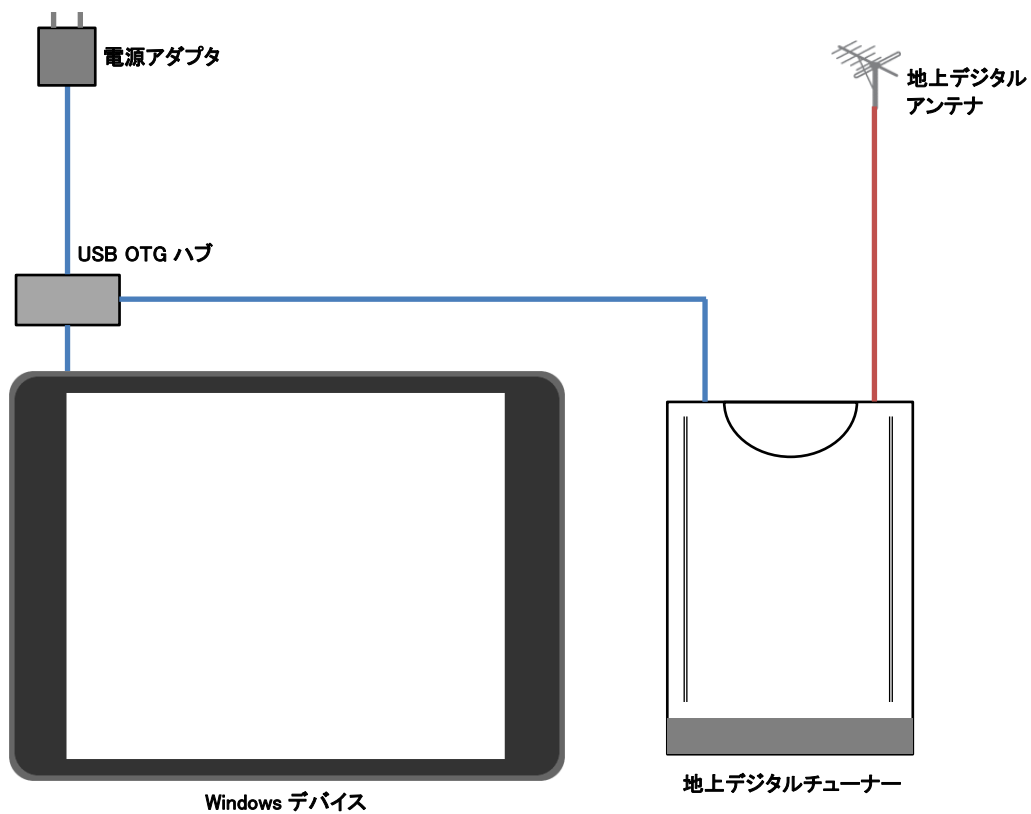
◆その他

- EPGを取得し、エラー通知情報に番組情報を付加します。
- 時刻補正は、TOT（Time Offset Table）を使用します。

3. 地上デジタルチューナー各部の名称



4. 接続方法



5. 監視システム

5.1 メイン画面

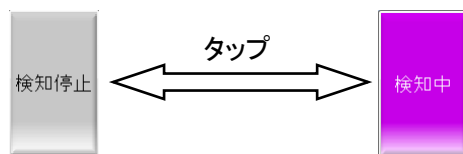
ログ日時	番組	内容	エラー-継続時間
2015/06/12 15:51:00		RF監視システムを起動しました。	
2015/06/12 15:51:10		検知を開始しました。	
2015/06/12 15:51:10	情報ライブ アルピクス [字]	番組情報を取得しました。	
2015/06/12 15:52:06	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:52:06] [00.0 dB]	
2015/06/12 15:52:06	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:52:06] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:52:25	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:52:24]	00:00:19
2015/06/12 15:52:25	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:52:24]	00:00:19
2015/06/12 15:52:44	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:52:42] [01.7 dB]	
2015/06/12 15:52:44	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:52:42] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:52:59	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:52:58]	00:00:16
2015/06/12 15:53:00	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:52:59]	00:00:17
2015/06/12 15:53:10	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:53:08] [01.7 dB]	
2015/06/12 15:53:10	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:53:08] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:53:26	情報ライブ アルピクス [字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:53:25]	00:00:16
2015/06/12 15:53:26	情報ライブ アルピクス [字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:53:25]	00:00:16

詳細については以下を参照してください。

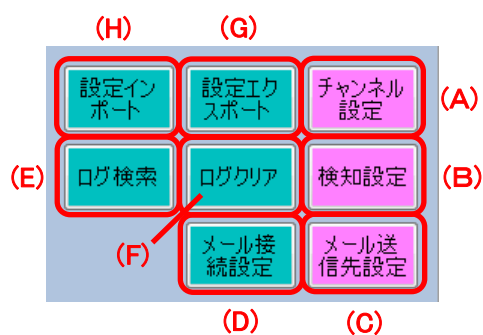
- ① 5.1.1 エラー検知開始・停止ボタン
- ② 5.1.2 設定ボタン類
- ③ 5.1.3 エラー確認ボタン
- ④ 5.1.4 番組情報表示欄
- ⑤ 5.1.5 ログ表示
- ⑥ 5.1.6 映像表示
- ⑦ 5.1.7 映像表示 ON・OFF ボタン
- ⑧ 5.1.8 グラフ表示
- ⑨ 5.1.9 グラフ表示範囲切替
- ⑩ 5.1.10 過去ログ表示

5.1.1 エラー検知開始・停止ボタン

- ・エラー検知停止中にタップすることでエラー検知を開始します。
- ・エラー検知中にタップすることでエラー検知を停止します。



5.1.2 設定ボタン類



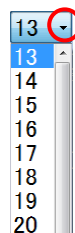
(A). チャンネル設定

監視チャンネルの設定を行います。

(1). 設定



物理 Ch を選択します。




をタップし、表示されるリストより選択します。

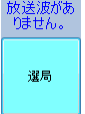


ボタンをタップすると選局を開始します。選局中は、




に点滅表示します。


選局が完了すると、 と表示します。

放送波を取得できない場合は、 と表示します。
放送局名称は、放送波から自動的に設定します。
中継局名称は、任意に設定できます。

(2). 設定の保存と本画面の終了

 ボタンをタップすることで、設定を保存し、本画面を閉じます。

(3). 本画面の終了

 ボタンをタップします。
設定が変更されていた場合、無効となります。

(B). 検知設定

エラー検知の設定を行います。

(1). 設定



①しきい値設定 – C/N 値エラー

C/N 値が指定値を下回った場合、C/N 値エラーとします。
設定値範囲は<0>~<40> dBです。初期値は<19>です。

②しきい値設定 – BER 値エラー

BER 値が指定値を上回った場合、BER 値エラーとします。
設定値範囲は<1E-4>~<1E-7>です。初期値は<1E-7>です。

③エラー判定期間 – C/N 値エラー

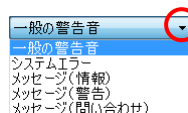
C/N 値エラーが指定する期間、継続した場合、C/N 値エラーを発報します。
設定値範囲は<0>~<3600>秒です。初期値は<1>です。
<0>を設定した場合、エラーは通知しません。

④エラー判定期間 – BER 値エラー

BER 値エラーが指定する期間、継続した場合、BER 値エラーを発報します。
設定値範囲は<0>～<3600>秒です。初期値は<1>です。
<0>を設定した場合、エラーは通知しません。

⑤アラーム設定

- ・エラー発生中にアラームを鳴動させたいエラー名のチェックボックスにチェックを入れてください。
- ・アラームの種類を選択してください。



をタップし、表示されるリストより選択します。

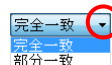
- ・▶ ボタンをタップすると、選択したアラームを試聴することができます。

⑥番組マスク設定

停波時等で発生するエラーのメール通知を抑制したい場合、番組名の指定、もしくは、日時を指定し、設定することができます。

●番組名指定

- ・番組名の指定を有効にしたい場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。
- ・一致条件を選択してください。



をタップし、表示されるリストより選択します。

- ・テキストボックスに番組名を入力してください。
番組情報がない番組をマスクする場合は、番組名を空欄にしてください。
その場合、一致条件は無視されます。

●日時指定

- ・日時での指定を有効にしたい場合は、 **日時指定** にチェックを入れてください。
- ・マスク範囲の日時を FromTo 指定します。

⑦タリー自動復帰

チェックボックスにチェックを入れると、エラー状態から、エラーが回復した場合に、回復状態にならずに、正常状態に戻ります。詳細は、『5.1.3 エラー確認ボタン』を参照してください。

(2). 設定の保存と本画面の終了



ボタンをタップすることで、設定を保存し、本画面を閉じます。

(3). 本画面の終了

ボタンをタップします。
設定が変更されていた場合、無効となります。

** スライダーの操作方法 **



上をスライドさせるか、  をクリックすることで、動かすことができます。
設定値はスライダーの右端に表示されます。

** サウンドの設定 **

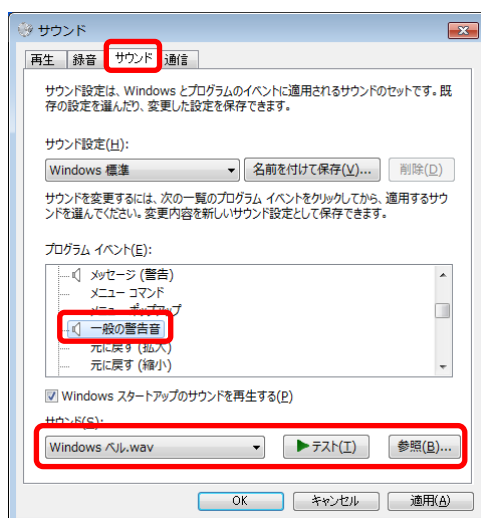
エラー発生時に鳴動するアラームのサウンドは、コントロールパネルから設定できます。

①コントロールパネルからサウンドを開きます。



②サウンドタブを開き、プログラムイベントから変更するイベントを選択してください。

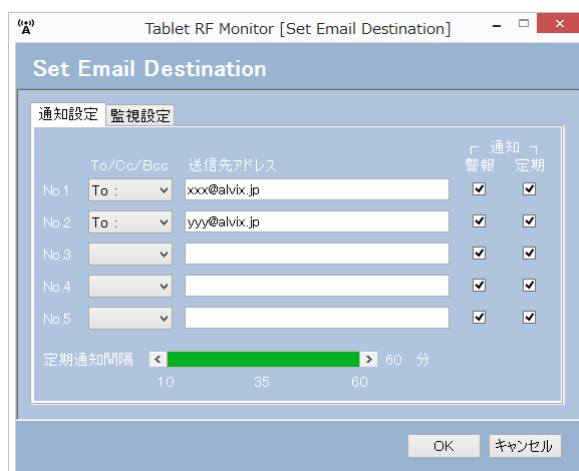
サウンドからWAVファイルを選択してください。



(C). メール送信先設定

メールを送信する相手先の設定を行います。

(1). 設定



①送信先設定

送信種別を選択します。



をタップし、表示されるリストより選択します。

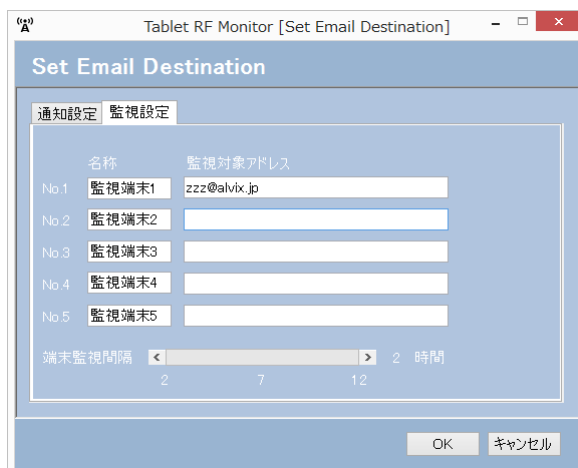
送信先アドレスに e-mail アドレスを入力してください。

②通知設定

取得した C/N 値、BER 値を e-mail で通知する間隔を指定します。
設定値範囲は <10> ~ <60> 分です。初期値は <60> です。

③警報通知／定期通知

警報通知メール、定期通知メールの送信する／しないを、チェックボックスに
チェックを入れる／入れないにより、設定することができます。
設定は、送信先アドレス毎に行えます。



④監視対象設定

他のオンエア監視装置のe-mailの送信状況を監視することができます。監視対象アドレスで指定するe-mailアドレスから、定期通知メールが届かない場合、警報メールを発報します。

詳細は、本書 6.2 端末監視の項を参照してください。

また、監視対象名称は、任意に設定でき、警報メールのタイトルに表示されます。

⑤端末監視間隔

端末を監視する間隔を指定します。

設定値の範囲は<2>~<12>時間です。初期値は<2>です。

(2). 設定の保存と本画面の終了

ボタンをタップすることで、設定を保存し、本画面を閉じます。

(3). 本画面の終了

ボタンをタップします。

設定が変更されていた場合、無効となります。

(D). メール接続設定

メールの接続先を設定します。

(1). 設定

① ユーザ情報

- 電子メールアドレス：[メールアドレス]を入力します。
- ログインアカウント名：メールサーバへログインするための[アカウント名]を入力します。
- ログインパスワード：メールサーバへログインするための[パスワード]を入力します。「パスワードを表示」にチェックを入れると、文字は「*」で隠されません。

② 受信メール設定(POP3)

- サーバ名：[POP3 サーバ名]を入力します。
- ポート番号：[POP3 サーバポート番号]を入力します。
- 新着メール確認間隔：新着メールを確認する間隔を設定します。設定値範囲は<10>～<600>秒です。初期値は<10>です。
- 暗号化にSSLを使用する：暗号化にSSLを使用する場合は、チェックを入れてください。
- 受信メールをサーバに残す：受信メールをサーバに残す場合は、チェックを入れてください。
- 受信フォルダ：受信したメールを格納するフォルダを設定します。**選択** をタップしてフォルダ参照画面よりフォルダを選択するか、直接パスを入力してください。

③ 送信メール設定(SMTP)

- サーバ名：[SMTP サーバ名]を入力します。
- ポート番号：[SMTP サーバポート番号]を入力します。
- 暗号化にSSLを使用する：暗号化にSSLを使用する場合は、チェックを入れてください。
- デフォルト送信先：メール接続先設定で接続先を指定していない場合に、通知する送信先を指定します。

- 送信フォルダ：送信メールを格納するフォルダを設定します。**選択** をタップしてフォルダ参照画面よりフォルダを選択するか、直接パスを入力してください。
- 送信済みフォルダ：送信済みメールを格納するフォルダを設定します。**選択** をタップしてフォルダ参照画面よりフォルダを選択するか、直接パスを入力してください。

④システム設定

- 使用するネットワークアダプタ：使用するネットワークアダプタをリストより選択します。ご使用の接続環境により、リストに表示される項目は異なります。
- モバイルブロードバンド：モバイルブロードバンドで使用する場合は、チェックを入れてください。

(2). 設定の保存と本画面の終了

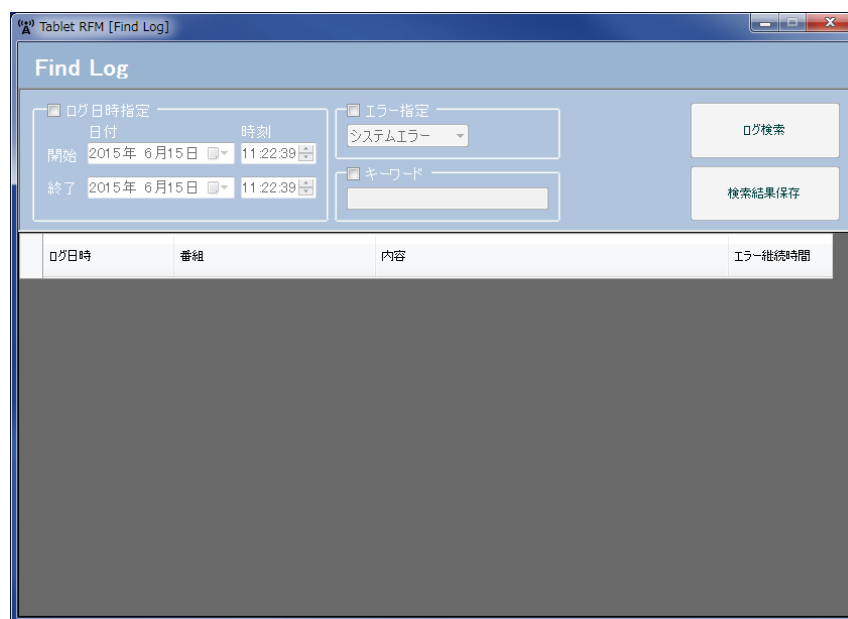
OK ボタンをタップすることで、設定を保存し、本画面を閉じます。

(3). 本画面の終了

キャンセル ボタンをタップします。
設定が変更されていた場合、無効となります。

(E). ログ検索

条件を指定してログを検索します。



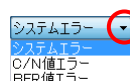
(1). 検索条件の設定

①ログ日時設定

検索範囲の日時を FromTo 指定します。

②エラー指定

ログ内の特定のログを検索する時に選択します。



をタップし、表示されるリストより選択します。

③キーワード

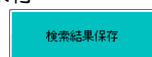
ログをキーワード検索する時に指定します。

(2). 検索結果の表示



ボタンをタップすると、検索結果を表示します。

(3). 検索結果の保存



ボタンをタップすると、検索結果を CSV ファイルで保存します。

(4). 本画面の終了



をタップすることで、本画面を閉じます。

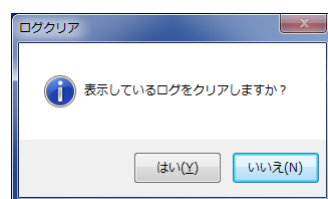
(F). ログクリア

取得したログデータを全て削除します。
本機能に画面は存在しません。

• ログの削除



ボタンをタップします。



ボタンをタップすると、全てのログを削除します。

※ログの削除は、データベース上のデータが削除されるのみで、保存した CSV ファイルは削除されません。

(G). 設定エクスポート

各設定ファイルを保存します。
この設定は PC 固有の設定です。



ボタンをタップして、フォルダ参照画面からエクスポートするフォルダを選択してください。

(H). 設定インポート

エクスポートした各設定ファイルをインポートします。
インポートした設定は、システムの再起動後に、反映されます。



ボタンをタップして、フォルダ参照画面から設定ファイルが保存されているフォルダを選択してください。

5.1.3 エラー確認ボタン

エラー状況をエラー内容に対応したボタン色変化によって表示します。

- 正常状態では、 となります。
 - エラー状態では、 に点滅表示します。
 - ボタンをタップ（確認動作）することで点滅は止まり、 と表示します。
- この状態でエラーが回復すると、 になります。
- エラー状態からボタンをタップ（確認動作）せずにエラーが回復した場合、検知設定で、タリ-自動復帰にチェックを入れないと、 と表示し、その状態で、ボタンをタップ（確認動作）すると、 になります。
- タリ-自動復帰にチェックを入れると、エラーが回復した場合、 になります。

5.1.4 番組情報表示欄

現在放送中の番組情報と、次放送の番組情報を表示します。



5.1.5 ログ表示



各エラー、各イベントの発生日時と内容を表示します。

ログ日時	番組	内容	エラー継続時間
2015/06/12 15:51:00		RF監視システムを起動しました。	
2015/06/12 15:51:10		検知を開始しました。	
2015/06/12 15:51:10	情報ライブ アルビクス[字]	番組情報を取得しました。	
2015/06/12 15:52:06	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:52:05] [00.0 dB]	
2015/06/12 15:52:06	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:52:05] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:52:25	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:52:24]	00:00:19
2015/06/12 15:52:25	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:52:24]	00:00:19
2015/06/12 15:52:44	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:52:42] [01.7 dB]	
2015/06/12 15:52:44	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:52:42] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:52:59	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:52:58]	00:00:16
2015/06/12 15:53:00	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:52:59]	00:00:17
2015/06/12 15:53:10	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 発生 [2015/06/12 15:53:09] [01.7 dB]	
2015/06/12 15:53:10	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 発生 [2015/06/12 15:53:09] [6.13E-04]	
2015/06/12 15:53:26	情報ライブ アルビクス[字]	C/N値異常 回復 [2015/06/12 15:53:25]	00:00:16
2015/06/12 15:53:26	情報ライブ アルビクス[字]	BER値異常 回復 [2015/06/12 15:53:25]	00:00:16

5.1.6 映像表示

- 現在放送中の映像を表示します。

5.1.7 映像表示 ON・OFF ボタン

- 映像が表示されている時は、 となり、タップすることで、映像は非表示となります。
- 映像が非表示の時は、 となり、タップすることで、映像が表示されます。

5.1.8 グラフ表示

- C/N 値、BER 値の現在の値をグラフ表示します。

5.1.9 グラフ表示範囲切替

- 表示中のグラフの時間軸方向の表示範囲を切り替えます。

5.1.10 過去ログ表示

- C/N 値と BER 値の過去のデータをグラフに表示します。



(1). 表示範囲指定

グラフを表示する範囲の日時を FromTo 指定します。

表示は直近 1 週間分のデータの中から、連続する最大 12 時間分です。

(2). グラフ表示



ボタンをタップすると、グラフを表示します。

指定した範囲にデータの抜けがある場合は、その分を詰めて表示されます。

5.2 メール画面



- ①ログ表示エリア
メールの送受信の状況を表示します。
- ②ログ自動スクロール
チェックボックスのチェックを外すと、ログの自動スクロールを止めることができます。
- ③メール設定
メイン画面のメール接続設定と同一の画面を呼び出します。
詳細は、本書 5.1.2 設定ボタン類の (D) メール接続設定の項を参照してください。

6. 外部制御

6.1 e-mail による設定・通知

- e-mail による外部からの設定、ならびに外部への通知を行うことができます。
- e-mail の設定については、本書 5.1.2 設定ボタン類の (C) メール送信先設定、(D) メール接続設定の項を参照してください。
- e-mail による設定は、メール送信先設定で「To/Cc/Bcc」「送信先アドレス」を設定してあるメールアドレスからの受信時のみ有効です。
- 以下にメール例を示します。

6.1.1 設定を変更したい場合

- 外部からメールで設定を変更できます。

<例> 外部 → 監視システム

件名	<監視設定>TABオンエア監視	
本文	:コマンド種別 : 設定コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :エラー判定有無 : エラー判定実施 :C/N I _r -判定閾値 : 25 [dB] :C/N I _r -判定期間 : 1[秒] :BER I _r -判定閾値 : 1.00E-7 :BER I _r -判定期間 : 1[秒] :定期通知間隔 : 2[分]	文頭に「:(コロン)」がついている部分は項目内容を分かりやすく表示している部分で、設定を変更するためのものではありません。
	[Parameter] cmd_kind=set_setting relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 err_det_en=1 cn_thresh= 25 cn_mask=1 ber_thresh=7 ber_mask=1 regular_info_int=2	[Parameter]以降は設定を変更するコマンド文です。

- 例えば、「C/N エラー判定閾値」を「20[dB]」にしたい場合、上記赤文字部分を「20」にしてメールを送信します。

6.1.2 アラーム発生メール

- アラームが発生した際、外部にメールで通知します。

<例>

監視システム → 外部

件名	<警報発生>TABオンエア監視〇〇中継局××放送局 15Ch
本文	:コマンド種別 : エラー通知コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :通知時刻 : 2015/05/11 20:44:15 :通知内容 : BER 値エラー発生 :エラー判定値 : 6.13E-04 :番組イベントID : 5035 :番組タイトル : 情報ライブ アルピクス [Parameter] cmd_kind=info_err relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 err_time=2015/05/11 20:44:15 err_msg=BER 値エラー発生 err_val=6.13E-04 err_pgm_event_id=5035 err_pgm_title=情報ライブ アルピクス

6.1.3 アラーム回復メール

- アラームが回復した際、外部にメールで通知します。

<例>

監視システム → 外部

件名	<警報回復>TABオンエア監視〇〇中継局××放送局 15Ch
本文	:コマンド種別 : エラー通知コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :通知時刻 : 2015/05/11 20:44:18 :通知内容 : BER 値エラー回復 :番組イベントID : 5035 :番組タイトル : 情報ライブ アルピクス [Parameter] cmd_kind=info_err relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 err_time=2015/05/11 20:44:18 err_msg=BER 値エラー回復 err_pgm_event_id=5035 err_pgm_title=情報ライブ アルピクス

6.1.4 状態を取得したい場合

- 設定状態を取得するため、リクエストメールを送信します。

<例>

外部 → 監視システム

件名	<状態取得>TABオンエア監視 - 設定取得
本文	<pre> :コマンド種別 : 設定取得コマンド [Parameter] cmd_kind=get_setting </pre>

- 設定状態が返信されます。

<例>

監視システム → 外部

件名	<状態取得>TABオンエア監視〇〇中継局××放送局 15Ch - 設定取得
本文	<pre> :コマンド種別 : 設定取得コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :エラー判定有無 : エラー判定停止 :C/N I_r-判定閾値 : 20[dB] :C/N I_r-判定期間 : 2[秒] :BER I_r-判定閾値 : 1.00E-07 :BER I_r-判定期間 : 2[秒] :定期通知間隔 : 60[分] [Parameter] cmd_kind=get_setting relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 err_det_en=0 cn_thresh=20 cn_mask=20 ber_thresh=7 ber_mask=20 regular_info_int=60 </pre>

6.1.5 特定のログを取得したい場合

- 取得したいログの開始と終了を指定してリクエストメールを送信します。

<例>

外部 ← 監視システム

件名	<状態取得>TABオンエア監視 - ログ取得
本文	<pre> :コマンド種別 : ログ取得コマンド :ログ開始日時 : 2015/05/09 02:48 :ログ終了日時 : 2015/05/09 04:48 [Parameter] cmd_kind=get_log log_start_time=2015/05/09 02:48 log_end_time=2015/05/09 04:48 </pre>

- 指定範囲のログが ZIP ファイルで返信されます。

<例>

監視システム ← 外部

件名	<状態取得>TABオンエア監視〇〇中継局××放送局 15Ch - ログ取得
添付ファイル	201505090248_201505090448.zip
本文	<pre> :コマンド種別 : ログ取得コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :ログ開始日時 : 2015/05/09 02:48 :ログ終了日時 : 2015/05/09 04:48 :取得結果 : 正常応答 [Parameter] cmd_kind=get_log relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 log_start_time=2015/05/09 02:48 log_end_time=2015/05/09 04:48 result=ACK </pre>

6.1.6 定期通知メール

- 指定された間隔で定期的にログをメール通知します。

<例>

監視システム ← 外部

件名	<定期通知>TABオンエア監視〇〇中継局××放送局 15Ch
本文	<pre> :コマンド種別 : ログ通知コマンド :中継局名 : 〇〇中継局 :放送局名 : ××放送局 :設定物理 CH : 15[ch] :ログ開始日時 : 2015/05/11 19:04 :ログ終了日時 : 2015/05/11 19:19 [Parameter] cmd_kind=info_log relay_station_name=〇〇中継局 tv_station_name=××放送局 ch=15 log_start_time=2015/05/11 19:04 log_end_time=2015/05/11 19:19 </pre>

6.2 端末監視

- 他の監視端末からの定期通知を監視することにより、他端末の監視システムの死活や、ネットワーク不通を検知することができます。
- 設定については、本書 5.1.2 設定ボタン類の (C) メール送信先設定の項を参照してください。

被監視端末(A)の通知設定に、監視端末(B)の e-mail アドレスを設定します。

通知設定 監視設定

To/Cc/Bcc: 送信 定期

No.1 To: xxx@alvix.jp

No.2 To: yyy@alvix.jp

No.3

No.4

No.5

定期通知時間 0 00 分

OK キャンセル

被監視端末(A)



定期通知メール



監視端末(B)の監視設定に、被監視端末(A)の e-mail アドレスを設定します。

通知設定 監視設定

名称

No.1 監視端末1 zzz@alvix.jp

No.2 監視端末2

No.3 監視端末3

No.4 監視端末4

No.5 監視端末5

端末監視時間 0 00 分

OK キャンセル

監視端末(B)



被監視端末(A)



定期通知メール



届かない

監視端末(B)



警報発報



お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038